

‘陽のあたる場所’
ル・ソラリオン葛飾

～「仁」それは親愛をもって接するところ。
生涯を通してあなたと寄り添うこと。～

発刊: 令和5年6月13日
6月号(第189号)
発行: 社会福祉法人
敬仁会
ル・ソラリオン葛飾



〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-16-7
TEL:03-3601-3711
FAX:03-3601-3716



6月号





こどもの日行事

鯉のぼりやかぶとを飾って、各フロアで「こどもの日」行事を行いました。フロアごとに様々な鯉のぼりやかぶとを飾り付け、華やかな雰囲気をご利用者に感じて頂く事が出来ました。

今では、中々自宅で鯉のぼりやかぶとを飾る事が減ってきてしまいましたが、改めて飾ると五月の雰囲気を感じる事が出来ました。

ご利用者からは「昔は近所でも結構飾ってあった。」「うちは男の子がいなかったからかぶとは飾らなかったけど、鯉のぼりは結構見に行った。」等、色々なお話を聞く事が出来ました。



介護保険負担限度額認定証	
交付年月日	令和 3 年 7 月 26 日
番号	0000123456
住所	124-0062 青戸4-16-7
フリガナ	カンシカ ハナコ
氏名	葛飾 花子
生年月日	大正 14 年 1 月 31 日 女
請求年月日	令和 3 年 8 月 1 日から
請求期限	令和 4 年 7 月 31 日まで
療養の給付額	付加料 1,300 円 その他のサービス 1,360 円
認定額	ユニット型個室 1,310 円 ユニット型個室の多床室 1,310 円
認定額	従来型個室 (特養等) 820 円 従来型個室 (老健・療養等) 1,310 円 多床室 370 円
保険者番号並びに保険者の名称及び印	131227 

全てのご利用者様に関わる大切なお知らせです。



今年も8月1日より、介護保険の2種類の証書が更新になります。負担限度額認定証は現在適用となっている方の住所地に更新申請書類が届きます、ご家族様にて更新手続きをお願いいたします。負担割合証については手続きの必要はございません。到着致しましたら、早めにご提出をお願い致します。

介護保険負担割合証	
交付年月日 年 月 日	
税 号	
住 所	
フリガナ	
氏 名	
生年月日	年 月 日 性別
利用負担の割合	適用期間
割 率	開始年月日 年 月 日 終了年月日 年 月 日
割 率	開始年月日 年 月 日 終了年月日 年 月 日
保険者番号並びに保険者の名称及び印	

介護保険負担限度額認定証

介護保険負担割合証

こちらは、ご家族による更新申請が必要となっています。介護保険の保険者になっている市区町村より6月中旬頃に更新書類が届きますので、申請漏れの無いようご注意ください。現在適用を受けておられる方も、ご提出が無い場合には、請求が基準額となってしまいます。必ずご確認の上、ご提出をお願いいたします。また、何らかの理由により対象外となられた方もご一報ください。

こちらは介護認定を受けておられる方、全てに発行されます。毎年更新されますので、到着次第、ご提出をお願い致します。※色、書式は保険者により違うことがあります。

～看護だより～

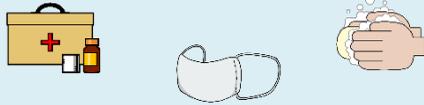


熱中症、食中毒が心配される時期となりました。

今年もまだ新型コロナ...と、季節外れのインフルエンザも流行しています。

5月26日、厚生労働省などは5月15日～5月21日にかけての感染症発生状況を公表しました。(定点報告数)

東京都では	新型コロナウイルス	前週比	47%増
	インフルエンザ	前週比	109%増
	感染性胃腸炎	前週比	26%増



となっています。

ご存じの通り、高齢者は抵抗力が弱く、感染すると重症化しやすい傾向がありますので、こまめな検温や体調確認により異常の早期発見に努めてまいります。

また、職員自身が感染源、媒介者にならないよう健康管理に努め、マスクの着用・手指衛生・環境整備・換気を継続。日々情報を集め会議を開き、研修を行い対応策を講じています。入居者様の新型コロナワクチンも準備中です。

ご家族との面会がままならず、ご不便、ご心配をおかけしておりますが、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

メニュー紹介 ～六月朔日弁当～

【お品書き】
お赤飯
メバルの若菜蒸
炊き合せ
香味和え
すまし汁
デザート



毎月恒例季節のお弁当。
6月は菜の花や茄子など、春・夏野菜を使ったお料理をご用意しました。
春から夏への移り変わりを感じられながら皆さま召し上がられていました。



編集後記

6月に入り、台風や線状降水帯の大雨、地震など、不穏な空気が漂っています。あまりの大雨に、恐怖を感じることも。そして早朝の緊急アラーム。中川と綾瀬川についてのメールは不安を煽ります。

そういえば子どもの頃、やはり大雨が降り近所のドブ川が溢れそうになったことがありました。この汚れた水はどこへ行くのか。と傘をさしてドブ川を見ていたことを思い出しました。はて、中川はどうなのか、気になる。見に行きたい。とすら思いました。

再度、携帯からけたたましいアラームが。「またか」とみると、目覚めました。不安でもいつの間にか、眠ってしまうのですね。

(CM)

